

名古屋大学大学院情報学研究科・助教 公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）の公募	
2	所 属	大学院情報学研究科 知能システム学専攻 フィールド知能情報学講座	
3	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） <業務内容> 本採用教員は、以下の業務を担当する。 ・対話システム分野の研究領域において、言語処理、音声処理、マルチモーダル処理、ロボティクス、ヒューマンコンピュータインタラクション、会話分析などの技術を用いて先端的な研究を推進し、基盤技術を発展的に適用させる研究に取り組むとともに、産業界が必要とする応用技術に関する研究開発に取り組む。 ・大学院情報学研究科および情報学部の運営に積極的に取り組む。 ・大学院情報学研究科知能システム学専攻および情報学部コンピュータ科学科における教育と研究指導を担当する。 <担当授業科目> (1) 大学院 ・博士前期課程 修士論文研究、セミナー、演習等 ・博士後期課程 博士論文研究、セミナー (2) 学部 ・コンピュータ科学に関わる演習、実験等 （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区不老町 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 助教・1名	
		[着任時期] 2026年4月1日以降のできるだけ早い時期	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	情報通信
		小分類	ヒューマンインタフェース・インタラクション、 知能情報学、知能ロボティクス
5	勤 務 形 態	常勤（テニュアトラック） 任期5年。本学テニュアトラック制度により審査の上、合格の場合はテニュアを付与する。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001177.htm 試用期間：あり（採用日から6か月）	
6	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有していること（取得見込みも含む）。 ・対話システムに関する研究分野において、優れた研究業績を有すること。 ・国際的な活動を通して、先端的な研究を推進できること。 ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感を持って取り組めること。	

		・ 学生指導を日本語および英語でできること。
7	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・ 給与は本学において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm
8	応 募 期 間	2025 年 8 月 1 日～2025 年 9 月 30 日
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 以下の書類一式を一つの PDF ファイルとしてまとめて、後述の応募フォーム内に記されているアップロードリンクから送付してください。 1) 履歴書（形式自由、写真貼付、E-mail アドレス記載） 2) 研究業績の一覧 ①学術雑誌論文（査読有無で区分）、②国際会議論文（査読有無で区分）、③総説・解説・著書など、④国内外口頭発表、⑤その他（受賞、獲得研究費（研究題目、研究期間、獲得金額、代表者・分担者の別を明記）、特許等）を区分して記載 3) 主要論文別刷（3 編以内、コピー可） 4) これまでの研究概要（A4 用紙 2 頁以内） 5) 今後の研究計画（A4 用紙 2 頁以内） 6) 教育についての実績と抱負（A4 用紙 2 頁以内） 7) 応募者について照会可能な方 2 名の氏名と連絡先 8) 類型該当性の自己申告書（「10 その他」参照） 応募期間内（必着）に以下のリンク先の応募フォームから応募をお願いします。提出書類のアップロード方法は、応募フォーム内に記載しています。 https://forms.office.com/r/MjGtqGJULL （右の QR コードからもアクセス可） ● 問い合わせ先： 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院情報学研究科 知能システム学専攻長 東中竜一郎 TEL: 052-789-5875 e-mail: higashinaka AT i.nagoya-u.ac.jp （AT を@に代えてください） [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・ 書類選考の上、面接を実施します。 ・ 応募者には電子メールで連絡を行います。

10	そ の 他	・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。 これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。様式は以下の URL から取得してください。 https://www.i.nagoya-u.ac.jp/resume/ ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
----	-------	--